



be a **GOOD** neighbor !

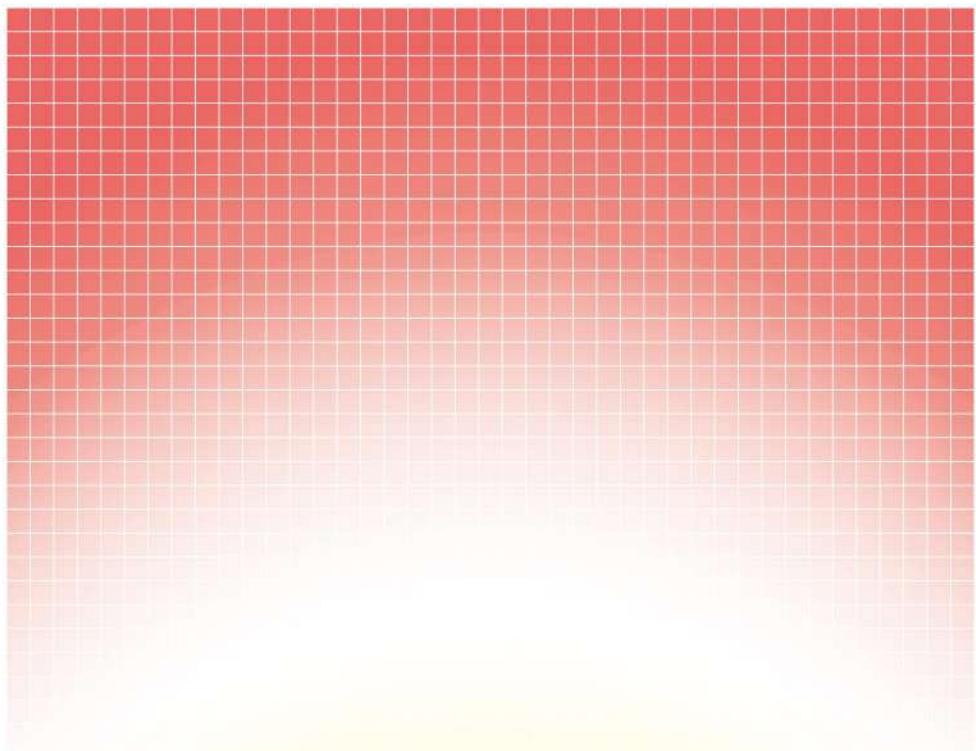
January

2018

vol.

04

みそのびと



— 特集 —

「美園」のハレの日、
「美園」のこれから。

v o l.

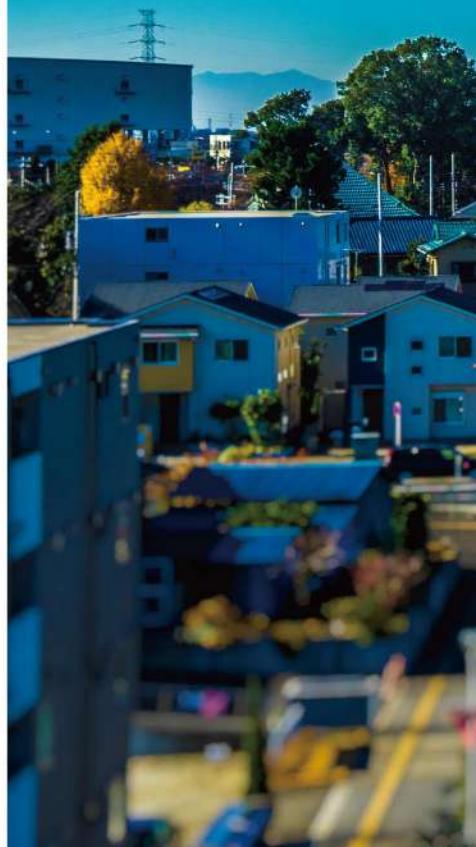
04

美園人

be a GOOD neighbor !

CONTENTS

- 04 「美園」の1年を季節とともに
「みそのごよみ」
- 06 「美園」の祭りがここに集う
3年目を迎えた「浦和美園まつり&花火大会」
浦和美園まつり&花火大会実行委員会 委員長
大熊 博
- 08 人・物・事、そして過去と未来をつなぐ
学校地域連携コーディネーター
学校地域連携コーディネーター
杉枝 祐司
- 10 「美園」から直通バスでおでかけ!
「第5回 城下町岩槻鷹狩り行列」
- 12 人の力で
「美園」のまちづくりを活性化
- 14 子どもの健やかな成長を願う
「岩槻の古式土俵入り」(釣上地区)
釣上の子ども相撲土俵入り保存会 会長
橋本 敏
- 16 先進都市「美園」の未来
「TOKYO CONNECTED LAB 2017」で
美園地区の取り組みを紹介しました
- 18 「美園人」に聞きました
だから「美園」が好き。その理由を教えてください。



「美園」のハレの日、 「美園」のこれから。

「美しき園」が、またひとつ、新しい年を迎ました。

太古の昔から人びとの営みが続いている「美園」の、これは幾度目の春でしょうか。

往く年に想いを馳せ、健やかな育みを喜び、笑顔を交わす。

そんな在り来たりにも思える、初春の寿ぎを繰り返し

「美園人」たちは、そして「美園」のまちは、未来へと歩みを進めていくのでしょうか。

be a GOOD neighbor!

2018年の「美園人」がはじまります。



「美園」の1年を季節とともに 「みそのごよみ」

新しい年のはじまりに。「美しき園」の歳時記を。

豊かな自然に恵まれた「美しき園」では、四季折々の移ろいを感じられる景色を随所で楽しむことができます。また、地域に伝わるさまざまな祭事には、人びとの関わりや暮らしが、どうか穏やかで健やかなものであるように…という「美しき人」の願いが込められています。

「みそのごよみ」では、美園地区とその近隣エリアにおける、季節の風景や祭りを紹介いたします。ときには少し足をのばし、季節ごとの景色や「浦和美園まつり」に代表される新しい「ハレの日」などを楽しんでみてはいかがでしょうか。



3頭の獅子舞が、華麗ながらも激しく勇壮な舞を披露します。「竜頭の舞」とも呼ばれます。



南部領辻の獅子舞(5月・10月)

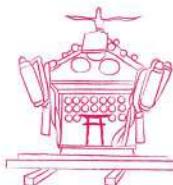


見沼田んぼの桜(春)



日本一とも言われる 20km 以上続く桜回廊のもと、春の散策を楽しむことができます。

＼ 毎月最終金曜日はみそのいち！ ／



地元の農家さんが愛情を込め
て育てた旬の野菜が味わえま
す。「浦和美園駅」改札口前で、
毎月開催しています。



大人も子どももお神輿で練り歩
く、伝統ある大門神社で最も盛
り上がる、夏の祭りです。

大門八坂神社祭礼（7月）



芝生広場、アスレチック道具、かまどなどがあり、
家族でキャンプを楽しめます。

さぎ山記念公園でキャンプ！（春～秋）



花火や縁日、車両基地見学
会などの多彩なイベント
で、「美園」全体が盛り上が
ります。

自然を使ったワークショップや紙芝居など、
親子で見沼田んぼを楽しめます。

みぬま秋フェス in さぎ山（秋）

浦和美園まつり&花火大会（10月）

(p.06 参照)

7月

8月

9月

10月

11月

12月

ホタル観賞のタベ（7月）

日本の夏の風物詩をもう一度。
見沼田んぼでホタルを眺めま
せんか？



人形のまち岩槻まつり（8月）

人形仮装パレード、ジャンボひな段、
万燈みこしなどの催し物は、「人形の
まち」ならでは。

岩槻の古式土俵入り（秋）

(p.14 参照)

男の子が様式化された土俵入りを行い、健やかな成長を祈願します。



日光御成道 美園 大門宿まつり（10月）

子ども日光社参行列、みこし展示、昔あそびを通
じて、世代を超えた交流ができます。

岩槻人形供養祭（11月）

飾らなくなったり、壊れて使わ
なくなった人形を、読経のもと
で供養する伝統行事です。

「美園」の祭りがここに集う

3年目を迎えた「浦和美園まつり&花火大会」

浦和美園まつり&花火大会実行委員会 委員長

大熊 博



2015(平成27)年にスタートした「浦和美園まつり&花火大会」。回を重ねるごとに規模も拡大し「美園」の新たな「ハレの日」となりました。今回は仕掛け人の一人である実行委員会の委員長の大熊さんにお話を伺いました。

DATA

浦和美園まつり&花火大会実行委員会 委員長
大熊 博(おおくま ひろし)

美園地区自治会連合会会長。初年度から「浦和美園まつり&花火大会」の実行委員会の委員長を務め、2017(平成29)年で3年目。「美園」のまちとイベントを盛り上げるべく日々尽力している。



きっかけは埼玉高速鉄道の荻野社長の一言から。

「浦和美園まつり&花火大会(以下、「美園まつり」)」は、埼玉高速鉄道(SR)の荻野社長が「美園」を活性化するために何かやりたい、という話からスタートしました。長い歴史を有する「美園」には、社寺の行事は数多くあります。でも、新しく越してきた住民をも巻き込むような大規模なイベントはありませんでした。それならば、と、私が委員長を引き受けたのです。



SRの車両と綱引き。他にも車両基地見学会も開催。



3番線(臨時ホーム)で縁日。親子で楽しめる企画も多い。

花火だけでなく、「美園」の祭りへと。

せっかくやるなら「よし、客を呼び込もう!」と。当初は花火大会中心で話が進んでいましたが、それでは夕方のイベントになってしまい、場所も限られてしまう。だから、縁日を出したり、ステージを設けたり…と、時間帯とエリアも広げることを考えたのです。回を重ねるうちに、「みんなの埼スタフェスティ」など4つの祭りが同日開催となり、規模が拡大していきました。

次は、若い世代へとバトンをつなぐ。

実は「美園まつり」は市外からの来訪者も多いんです。「美園」と都心部を結ぶ路線であるSRを通じて、お越しいただいているのかもしれません。これから、さらに若い世代の人たちが活躍したら嬉しいですね。例えば「ミス美園」を開催して、まちの広報を担っていただける方を募っても面白いかもしれません。「美園」の祭りへと成長したこの一大イベントを「我こそは!」と、しっかり考えて盛り上げていってくれる若手の登場を期待しています。



(左)恒例の花火大会。(中央)沿道にはステージも設けられている。(右)「埼スタ」ではキッチンカーグルメ選手権も。

人・物・事、そして過去と未来をつなぐ 学校地域連携コーディネーター

学校地域連携コーディネーター

杉枝 祐司



地域の“人財”が学校に関わっていくことで、学校の教育活動も豊かになり、子どもたちにとっても地域を知るきっかけになる。美園小や美園地区が故郷になり、帰ってきた時にいいところだな、あのころ楽しかったなど子どもたちが思える場所になってほしい。そんな夢を心に抱き、日々まちを走り回る杉枝さんに、学校地域連携コーディネーターのお仕事について伺いました。

DATA

さいたま市立美園小学校 学校地域連携コーディネーター
杉枝 祐司(すぎえだ ゆうじ)

もともと教員だったが、退職後も地域に関わっていきたい、子どもに地域を好きになってもらいたい、という想いから、さいたま市が実施する学校地域連携コーディネーターに応募。現在、チャレンジスクール「美園小学校はばたき教室」の運営支援など、美園小に係る地域の人びとの連携・調整を行っている。



※チャレンジスクール：さいたま市が地域の方々の参画を得て、市内の小・中学校で放課後や土曜日に、学習や遊びの場を提供している事業。子どもの社会性や公共性、創造性など豊かな人間性を育むとともに、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図っている。(中学校は土曜チャレンジスクールのみ実施)

POINT 01:

学校の“応援団ネットワーク”をつくる

自治会長や民生委員、育成会の役員、防犯ボランティア、幼稚園や保育園など、さまざまな地域の方に学校だよりを持参して、直接、お話をする機会を持たせてもらっています。顔を合わせてお話をすることで“人と人”的つながりが強くなり、地域の方々が学校を支える“応援団”になってくださっています。

POINT 02:

子どもたちのチャレンジをサポート

「美園小学校はばたき教室」は保護者やスタッフから、昔の教え子や地元の大学生まで、多くの地域の方に支えられています。みなさん笑顔で参加し続けてくださっていて、本当にうれしい限りです。こうした体制のもと、自主学習のサポートや体験活動などを実施し、また、子どもたちの興味に応じて、漢字検定やけん玉大会、英会話などにもチャレンジ。子どもたちの「できた！」という喜び体験のサポートをしています。

POINT 03:

子どもたちが安心・安全に生活ができるまちに

新しいまちの特徴ではありますが、まちの姿は日々変わります。そのような中でも、子どもたちが安心・安全に登下校でき、遊び回れるようなまちをつくりたい。そのためボランティアを募り、皆さんの協力を得て、登下校の見守り活動やまちの危険箇所の共有といった情報交換などにも積極的に取り組んでいます。

MISONO
CHALLENGE



「美園」から直通バスでおでかけ! 「第5回 城下町岩槻鷹狩り行列」

江戸近郊の城下町として、また日光御成道の宿場町としても賑わった「岩槻」。そんな「岩槻」へは「美園」から直通バスで気軽にアクセスすることができます。歴史あるこのまちで、2017(平成29)年11月3日(金・祝)に行われた、「第5回 城下町岩槻鷹狩り行列」にバスに乗ってたずねてみました。



「浦和美園駅」のバスロータリーを出発。30分ほどで「岩槻駅」に到着しました。



行列のスタートは「岩槻郷土資料館」前から。オープニングセレモニーを終え、出発です。



しばらく歩いたところで放鷹術の披露が。暑かったせいか、鷹匠は腕に留まったそれぞれの鷹に霧吹きで水を掛けていました。



華やかな大名行列。「岩槻」は徳川家康による開府後、江戸近郊の城下町として、また日光御成道の宿場町としても賑わったまちです。



DATA

第5回 城下町岩槻鷹狩り行列

日時：2017年11月3日(金・祝)13:00～15:30

場所：東武鉄道野田線「岩槻駅」東口周辺

主催：城下町岩槻鷹狩り行列実行委員会

(さいたま市岩槻区役所総務課観光経済室内)



カメラの発光に驚いたのか、大きく羽ばたいてビルの屋上に留まることもありましたが、鷹匠が大きな餌を見せるところ再び舞い降りてきました。



馬にまたがる武士でしょうか。本格的な衣装に、往時にタイムスリップしたかのような気分にさせられます。



行列はゆっくりと進み、「細田医院」の前に設けられた会場に到着。岩槻藩によるお出迎えと黒奴の奴振り、そして再び放鷹術の披露がありました。



外国人初のプロ日本民謡家モード・アルシャンポーさんにによる祝賀の舞など、いずれも歴史を感じさせてくれるものばかりでした。

BUS ACCESS

「美園」から「岩槻」へはバスが便利！ /



「美園」にはかつて大門宿が置かれ、「岩槻」とは日光御成道の宿場町同士です。深いご縁のあるまちですが「美園」から「岩槻」へは、鉄道を利用すると乗り換えが大変です。でも、実はバスを利用するととても便利。「浦和美園駅」から「岩槻駅」へは直通バスが運行しており、30分弱で気軽に足をのばすことができます。



国際興業バス岩11-3、岩101系統が走ります！

人の力で 「美園」のまちづくりを活性化

大規模なまちづくりが進行している「美園」ですが、道路といったハード面（インフラ）の整備から、徐々に「まちを育み、まちを使いこなす」ステージへと移りつつあります。それに伴い「美園」を舞台とした都市活動も日々活発になっており、ボランティアセンターの需要が高まっています。

「人の力をつなぐこと、活かすこと」で「美園」のまちづくりを活性化する試みとして、2018(平成30)年1月に始動した「ちょいサポートみその」と、本誌『美園人』でスタートする「第一期地域センター」についてご紹介します。



ボランティア活動のきっかけづくり 「ちょいサポートみその」。

「ボランティアサポートを得たい」事業運営者（地域団体・企業など）と、「地域活動に参加したい」という人びとを結びつける取り組みです。UDCMi メールニュースを通じて、ボランティア活動やその体験機会の情報収集と発信を行っています。まずは気軽なレベルから地域活動に関わりたい、と考えたときの「最初のきっかけ」となる場を提供します。

＼ UDCMi メールニュースを通じ、ボランティア募集情報を配信！ /



詳しい情報は web から。

UDCMi メールニュースの登録を希望される方、ボランティア情報の掲載を希望される方は
「アーバンデザインセンターみその（UDCMi）」の web ページをご覧ください。

<http://www.misono-tm.org/>



「みその出版@UDCMi」と連携して、『美園人』の取材や記事執筆を行う
「第一期地域サポーター」の募集をスタートします！

「美しき園」の「今」を映しとり、伝える…一緒に『美園人』の紙面づくりを進めてくれる仲間を募集いたします。

＼ 例えはこんなことをお願いします！ ／

私のおすすめ、「美園」のお気に入りスポット

いつものカフェや、お散歩に便利な公園など「物」を紹介



気になる“あの人”にプチインタビュー

まちで活動しているあの人、あのグループに話を聞いて「人」を紹介



まちで開催されたイベントをレポート

コミセンでの発表や駅前のイベントなど、まちで起きている「事」を紹介



私たちが「みその出版@UDCMi」です。



アーバンデザインセンターみその(UDCMi) 岡本 祐輝

『美園人』は、「美園」のコミュニケーション促進や地域ブランドイメージ形成を目指したローカルメディアです。まちの魅力をお伝えすることで、人びとが「美園」に誇りをもち、まちづくりがさらに加速すればと思います。

さいたま市 環境未来都市推進課

「美園」は先進的な試みが数多く行われているまちです。『美園人』では、さまざまな取り組みや仕組みについてご紹介いたします。住まう人が幸せと喜びを感じ、誰もが「住んでみたい、働いてみたい、訪れてみたい」と思うまちと一緒に育てていきましょう。



株式会社ココロマチ ディレクターチーム

「新しいまち」というイメージが強い「美園」ですが、取材と編集を通じて過去・現在・未来のつながりをお伝えできるよう、心がけています。これからも、ローカルメディアのプロとして『美園人』を盛り上げていきます。

要項・ご応募はwebから。

『美園人』のwebページで順次詳細を発表いたします。

文章を書くのが好きな方、人が好きな方、まちが好きな方。ご応募お待ちしております。

<http://misonobito.jp/>



子どもの健やかな成長を願う 「岩槻の古式土俵入り」(釣上地区)

釣上の子ども相撲土俵入り保存会 会長

橋本 敏



鷹や鯉などの勇壮な柄をあしらった色鮮やかな化粧まわしを身につけ、子どもたちが土俵入りの型を披露する「岩槻の古式土俵入り（以下、「土俵入り」）」。国の重要無形民俗文化財にも指定されている伝統ある行事です。保存会会長の橋本さんにお話を伺いました。



DATA

釣上の子ども相撲土俵入り保存会 会長
橋本 敏(はしもと さとし)

「土俵入り」の歴代行司が集まり保存会を結成。参加する子どもたちの指導にあたり、毎年10月第三日曜日に「神明社」で開催される「土俵入り」の歴史と文化を守っている。

江戸時代から続く、釣上の伝統行事。

この「土俵入り」は、子どもの成長を祈願して江戸時代から続いている行事です。実際に相撲は取らず、厳かな雰囲気の中「土俵入り」のみを行います。氏子であれば誰でも参加でき、現在は釣上（上・中・下）と釣上新田、釣上南の3つの字の幼稚園・保育園の年長から小学校6年生までの男の子が集まっています。



「土俵入り」の舞台となる「神明社」。



家紋入りの赤い襦袢。

私も、息子も、孫も全うした「土俵入り」。

釣上では、子どもたちが土俵まで家紋入りの赤い襦袢を羽織ります。襦袢を脱ぐといよいよ「土俵入り」。小さい子、大きい子、役力士の順で行われます。名前の入った化粧まわしも個人でこしらえるのですが、みな違って鮮やかでしょう。私も2人の息子も孫も、みな「土俵入り」を行いました。息子たちの化粧まわしは神社に奉納しましたが、孫のものは今も大切に保管しているんですよ。

新しく「美園」に住もう人びとにも。

実は、参加する子どもたちの数が減り、毎年参加者を集めるのに苦労しています。ですから、最近「美園」に引っ越してきた方々にもぜひ知っていただければと思います。「綾瀬川」の東側、もともと釣上だった一帯であれば氏子ですし、子どもの成長を願い、立派な大人になってほしいと思うのは、昔からの住人も新しい住人も変わりません。「土俵入り」が「美園」に住もう方たちの橋渡しになることも願っています。



(左) 鯉の滝登りをあしらった化粧まわし。(中央) 橋本さんの息子さんも「土俵入り」を行った。(右) 昨年の三役土俵入りの様子。

先進都市「美園」の未来 「TOKYO CONNECTED LAB 2017」で 美園地区の取り組みを紹介しました

昨年秋に「東京ビッグサイト」で開催された「第45回 東京モーターショー2017」。未来のモビリティ社会をテーマにした展示ブース「TOKYO CONNECTED LAB 2017」に「美園タウンマネジメント協会」が出演、「美園」で開発・実証がはじまっている「“移動”に係る4つの取り組み」について紹介しました。

まちを舞台にはじまる、先進的な4つの取り組み。

ゼロエミッション地域公共交通インフラ

電車がブレーキをかける際に生まれるエネルギー「回生電力」。埼玉高速鉄道「浦和美園駅」に「回生電力」を取り出して、効率的に電動バスに超急速充電する技術を開発し、さいたま新都心地区までノンストップで運行する実証実験を進めています。

マルチ・モビリティ・シェアリング

利用のシーンに応じて、電動アシスト自転車や親子自転車、小型の電気自動車などから、エコで最適な乗り物を手軽に利用できる「エコモビ (eco mobility sharing)」をスタート。バス・電車などの公共交通網を補完することで、エコで快適な移動ができるようになります。

位置情報を活用した安心・安全なまちづくり

Bluetoothを活用し、子どもや高齢者、自転車の位置情報を自動車側に表示させ、事故防止を図る取り組みや、お母さん、お父さんが、お子さんの居場所を確認できるサービスなど、「美園」の安心・安全の向上を進めています。

共通プラットフォームさいたま版

まちの情報を収集・管理・発信する情報共通基盤システムの開発と実証を進めています。モビリティ・シェアリング、ヘルスケア、セキュリティなど、暮らしにおけるさまざまなシーンを支援します。





DATA

第45回 東京モーターショー2017 「TOKYO CONNECTED LAB 2017」

日時：2017年10月27日(金)～11月5日(日)

場所：東京ビッグサイト

主催：一般社団法人 日本自動車工業会(JAMA)

導入を進め、さらに 住みやすい「美園」へ。

4つの取り組みは、「美園」の未来に向け、他のまちに先駆けて開発と実証が進められているものです。まちのインフラが整備され、それらを「美園」に住もう人や集う人が実際に利用できるようにしていくことで、さらに、安心・安全で快適・便利なまちづくりが進んでいきます。今後も「美園」というまちが、よりスマートに、安心・安全に、生活を支える仕組みが整い、さらに活性化していくことを目指しています。



MISONO 2050

「美園」の未来を描く

この先もサステナブルな美園地区であり続けるために、「美園」で暮らし、働く、一人ひとりに何ができるかを考えるワークショップが開催されました。当日は和気あいあいとした雰囲気でありながら、議論は白熱。想いが詰まった多くのアイディアの実現が期待されます。



DATA

「Misono2050」ワークショップ

日時：2017年11月18日(土) 10:00～12:00

場所：アーバンデザインセンターみその(UDCMi)ワークショップスペース

主催：一般社団法人美園タウンマネジメント、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科松浦研究室

協力：美園タウンマネジメント協会、みその都市デザイン協議会

だから「美園」が好き。その理由を教えてください。

『美園人』第4号にご登場いただいた方々に、「美園」についての質問にお答えいただきました。みなさんの「美園愛」あふれる回答に注目です。

Q: 「美園」についての想い、好きなところを教えてください。



大熊博さん (p.06 参照)

A: 一見、「美園」は何もないように思えます。かつては、ゆったりと静かに時間が流れっていました。ですが、現在の「美園」は、急激に新しい人が増え、「埼スタ」のような施設が建ち、目まぐるしく環境が変わっています。こういうまちは珍しいのではないかでしょうか。ただ、そのスピードに対し、残念ながら新しい人と昔からの人の交流が追いついていない。若い人たちがこれから「美園」を盛り上げていくことを期待しています。

A: なんといっても「美園」の子どもたちが本当に良い子だということ。「自分はこう思う」ということを考えて、人に伝えるという力も本当に高い、これは素晴らしいと思います。湧き出る好奇心に目を輝かせていて、どんなことにも積極的に取り組んでいます。「つながる・ひろがる・かがやく」をテーマに、これからも子どもたちをサポートしていきます。



杉枝祐司さん (p.08 参照)



橋本敏さん (p.14 参照)

A: 自然が豊かで、釣上の「土俵入り」のように地域ごとに歴史があります。子どもたちが成長して、親の元から巣立っていっても、里帰りの折には無邪気に羽をのばして、いい笑顔で戻ります。祭りなどを通じて、新しく越してきた人と昔からこのあたりに住んでいる人が、いい意味で融合するような場ができればと思います。

美園人

みそのびと

編集後記

謹んで初春のお慶びを申し上げます。昨年4月に「美園」の過去・現在・未来をお伝えする、「美園発・美園初」のローカルメディアとしてスタートした『美園人』。紙面の編集を通じ、多くの方々からお話を伺うことができました。昔からこの地に住もう人、文化を後世に伝える人、自然の恵みを享受して食を創る人…ご縁に深く感謝申し上げます。新しい年も「美しき園」「美しき人」の魅力をお届けできるよう、心を傾けて参ります。

埼玉りそな銀行 浦和中央支店
浦和美園出張所

OPEN記念キャンペーン実施中!

キャンペーン期間:2017年11月6日~2018年2月9日
 詳しくは浦和美園出張所までお問い合わせください。



＼ここが便利！／

その1

貸金庫は年中無休！
 〈全日 8時～夜8時〉

その2

ほぼすべてのお手続きが印鑑不要!
 キャッシュカードだけでお取引き!

取扱い業務

資産運用

各種ローン

貸金庫

資産継承

その他各種預金業務も取り扱っております。



埼玉りそな銀行

住所 〒336-0967 埼玉県さいたま市緑区美園4-13-13

営業時間 平日／9:00～17:00

お問合せ先 TEL048-812-3601

(音声アナウンスが流れた後、3音をダイヤル願います) どうぞ気軽にお問い合わせくださいませ。



－「美園」のみなさまへ－

大規模なまちづくり事業が進められ、今後もさらに発展していく「美園」に、2017年11月6日「埼玉りそな銀行 浦和中央支店浦和美園出張所」を開設いたしました。セミナールームのほか、365日ご利用いただける生体認証機能付の全自動貸金庫、授乳室や多目的トイレなども設置、「美園」のみなさまに親しまれ、ゆっくりご相談いただけるオープンな店舗を目指してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

美園人（みそのびと）第4号 2018年1月1日発行
企画・発行 みその出版@UDCMI 〒336-0962 埼玉県さいたま市緑区下野田494-1 オークリーフ1F TEL:048-812-0301
表紙 かさね色目「雪の下」。雪景色の中にも春の予感を感じ始める季節。謹んで初春の寿ぎを申し上げます。



× みその出版

『美園人』はwebでもご覧いただけます。 <http://misonobito.jp/>

ここから、はじまる。「美しき園」、「美しき人」。『美園人』web版では、PCやスマホ・タブレットなどで、冊子で紹介しきれなかった取材のこぼれ話やオフショット、「美園」でこれから行われるイベント情報などをご覧いただくことができます。随時更新中です。最新の情報はこちらから。

